

今度ははっきり言えた

なかなか、電話では理解がむずかしい。

たまりかねて、妹が、その指示聞いてくれて、わからない道の説明を、そばの新聞紙のはしに、小さく書いて、僕にくっつく様に説明する。

「あれ、この子、左ききや。」

説明がくどくて、わからない。

どっちが南で、どっちが北かが、わかれば、僕は、だいたいわかる。

その説明が最初にないので、僕はついて行けなかった。

わからぬまま、わかったと言った。

すると、「ほんと？」と、妹は疑う。

どうも、説明している本人もわかってない感じ。

僕が立ち上がると、「もう、行かはるんですか。」と言う。

家の前に出て、自転車に乗り、

「おおきになあ、助かった、ほな、またなあ」と言う、つまらなそうな顔だ。

ちよっと走って、気になり、後ろを見ると、まだ、妹は玄関に立って、こっちを見ている。